



慣れてきました…園生活♪

進級してから1カ月以上が経過し、園児たちは幼稚園での生活にも随分と慣れてきたようです。

毎朝、登園してくる園児たちを正門前で出迎えています。「御仏様、おはようございます」、そして私の方を向いて「園長先生、おはようございます」と爽やかで元気の良い挨拶をしてくれる園児が増えてきました。筑女幼稚園の伝統がしっかりと根付いていることを実感しています。さらに、保護者の皆様もお子さんに挨拶を促したり、また、一緒に挨拶をされたりする姿を見て、とても素晴らしい環境が醸成されているなあと思います。

ところで、登園してくる園児は、道中で発見したのでしょうか、ダンゴムシやテントウムシ、カタツムリなど持ってきているのをよく見かけます。他にはナメクジやカマキリのあかちゃんもいました。

手のひらで優しく握って持ってくる子は、アルコール消毒の時に一苦労しているようです。

また、たんぼぼや色のついた葉、竹の皮や枯れ枝などの植物系を持ってくる子もたくさんいます。

これらは、五月に入って多くなってきました。

幼稚園バスで登降園している年少の皆さんは、バスの昇降ステップの段差が大きくて、1カ月前は、添乗している教師の手を借りて、昇降していました。今では、教師の手を借りなくても、一人で昇降できる子も増えてきました。



年長の皆さんは、坂道登園が始まりました。マスクをして大きな荷物を持って坂道を上っています。

私も昨年度の初めは、電車通勤していましたので、坂道を上っていました。結構な急坂で、汗をかいたり、途中で息が切れたりしていたことを思い出しました。

正門に到着した園児たちは、「坂道登園してきたよ」と自信に満ち溢れた顔で話してくれます。卒園まで継続すれば、大きな自信と逞しい体力がつくことは間違いのないと思います。坂道を上る一步一步は小学校へ向けての大きな一歩になっていくと感じています。頑張れ！年長の皆さん！

栽培活動のスタート🌱



年長の皆さんは、バケツ稲にチャレンジです。昨年度は、コロナ感染拡大防止のために臨時休園や分散登園などのため、バケツ稲は各家庭で栽培していただきました。今年は、幼稚園で栽培できて良かったです。

一人ひとりのバケツに田植えが終わり、これから水の管理等のお世話が待っているかと思っています。

年中の皆さんは、夏野菜の栽培を始めています。野菜の名札には、トマト・キュウリ・？と表示してありました。「？」の野菜は何なのでしょう…？気になりますね。これからの生長を楽しみにしておきます。



教育実習、始まる👩👧👦

筑紫女学園大学 人間科学部 人間科学科 初等教育・保育専攻 初等教育・幼児保育コースの4年生2名が5月24日(月)～6月18日(金)の4週間、実習にきましたので紹介いたします。



▶田尻 祐花 先生
・(前半)きりん、(後半)ゆり組を中心に実習を行います。



▶濱野 栞 先生
・(前半)うめ、(後半)さくら組を中心に実習を行います。